

第2回宝塚市議会意見交換会記録 A班

※ この記録は、市民発言者と議員の意見交換の様子について、書記として参加した議員が記録したものを元に作成しています。

テーマ「まちの活性化について」

市民 まちの活性化について2つ提案がある。

1. 北部農村地区の活性化について

春に西谷へ行った際に、少子高齢化が進み、人が少ない地域だと感じ、人口を流入させる必要性を感じた。全国の災害の被災者に来ていただければどうか。

2. 市街地の活性化について

西谷地区のスマートインターを活用して企業誘致をし、活性化につないではどうか。第5次総合計画には財政を豊かにする内容が見当たらない。儲ける工夫がほしい。

議員 まず、事前の質問について答える。

まちをどのようにしたらよいかは、基本条例に基づいたまちづくりをしていくべき。まちづくり基本条例前文にあるように「住み続けたい、訪れてみたいまち」であることが大切。第5次総合計画後期の策定前に、市民アンケート調査を実施。80%が住み続けたいまちとしているが、理由は交通の利便性がよいから。まちづくりは基盤整備だけではなく、ソフト面でも、踏み込んでいかなければならない。

当市のまちづくり基本条例は平成14年にできており、当時としては画期的。今後は災害時の安全安心・医療サービスの充実・防犯対策を高めていくという目標があるが、市と市民の協働ができていない。市民の7割が協働の指針を知らない。これは大きな問題。

北部西谷は人口減少が進んでいる、農業の法人化に委ねるとよいと考える。スマートインターチェンジには地元の声を反映させるべき。

市民 市民の発言を制約したのに、議員の発言は長すぎる。

財政の健全化にむけて考えていけないといけない。マンションを建てて人口を増やし市民税を増やすだけでは追いつかない。企業を誘致して法人税を取る方法を考えてほしい。夕張はだめになっても復活したが、宝塚にその力があるとは思えない。昔はイチゴ栽培で有名だった。今はそれもない。特産物を持つべきだ。

市民 光ガ丘に住んでいるが、高齢化しており、自分の班は20軒中4軒が空き家。5軒が独居。小学生がいる家庭は1軒のみ。買い物に行く手段が少ない。阪急バスはあるが、家からバス停までが遠い。バス停が坂の中腹にあり、移動してほしいとの声もある。掘り込みガレージの家が多く、高齢者は玄関までの階段を上げるのも大変。駅の近くに移りたいが、不動産屋に買い叩かれる。

自治会・不動産屋・銀行・リフォーム業者と連携して、高齢者が駅近くに移り住み、子育て世帯が山の手に移り住むことができるシステムをつくってほしい。

議員 空き家問題は大きく、全国で、住宅820万戸、7軒に1軒が空き家。

若い人が山手に、年配層は便利なところに移り住めるように、借りたい情報と貸したい情報を交換できるシステムが必要。宝塚市でも10月には答申が出るので、しくみをあげていきたい。民間が自治会と共にやっていくことが求められる。宝塚市は国の特措法が出来てもまだ機能せず。個人同士ではなく、地域で関わっていくべき。

議員 住宅マスタープランが機能していない。住宅システムを見直す動きがある。地域ごとで支えていくことが必要だとよくわかる。

市民 私たちのまちで子どもの声が聞こえるようにしてほしい。市議会議員は情報をたくさん持っているので、もっと自治会にきて話をしてほしい。しくみづくりを考えてほしい。

議員 呉市では空き家をつぶすときに2%の低金利でローンの制度がある。

山手の交通問題を考える必要がある。利便性を向上させるための+αが必要。

市民 宝塚の観光花火大会がここ何年間かの際に、影が薄くなってきている。近隣の評判やラジオの取り上げ方も少ない。以前は土日にやっていたが、今は平日に開催している。宝塚はベッドタウンで平日だと親子そろって見に行くのも大変。他市がやらない冬の時期にやってはどうか。

議員 今年は打ち上げの場所が決めきれず、公表が遅れたと聞いている。また、マンションとの距離を考えると、今の場所では開催不可。1年間の人の通行などの調査を進めてから、新しい開催場所を決めることになる。他市では冬の花火大会も

やっているが、宝塚市がやればかなり珍しい。しかし、大正から100年以上続く花火大会は、一年を通じて一番気候が安定している時期なので、夏にしてきた経緯がある。

市民 花火をあげるのにはお金がかかる。私はシルバーカレッジに参加しているが、ボランティアで花火をあげるための寄附を集めるという行動も必要なのではないか。駅前などで募金活動をすることでPRすることもできると思う。

議員 議員からでは難しいので、市民から声をあげていただきたい。

市民 宝塚市に住んで30年。住み心地が大きく変わった。明治20年代、阪急電車が町をつくり、4万人だった人口が、今は23万人。鉄道、遊園地・植物園ができた。宝塚歌劇のブランドで宝塚に住んだ方は多い。しかし、2代続けての市長の逮捕、未だ続く幹部の不祥事、そして放火事件。他市との行政格差が広がっている。今は住民が住むまちを選ぶ時代。宝塚市には六甲山麓を臨み武庫川が流れるという貴重な地形的自然資産がある。いつまでも、国際観光都市と言ってないで、身の丈に合った宝塚をめざすべきではないか。3点指摘したい。

1. 「財政の健全化」

議会には、財政の健全化の推進と情報公開をさらに進めてもらいたい。
インフラ整備を進めるべき。

2. 「住環境の改善」

宝塚は住宅地のみである。住宅環境の改善のため、都市計画を見直すべき。
公園の数は312と多いが、一人当たりの面積は、全国平均の半分。
コンパクトシティをめざしてはどうか。

3. 「子育て・教育の充実」

文教都市として子育て・教育の充実をすべき。保育所待機児童ゼロをめざし、
学校間格差もなくしていくべき。

議員 人口減少社会の中、宝塚市においては今後5年～10年は人口は減らないという推計があり、それが、行政側の危機感不足の理由の一つ。財政の健全化のためのベースとなるものがまだできていない。経常収支比率が高止まりしているところから、投資ができないのにまたハコモノを増やす。情報公開も必要。まちの活性化については、基礎的条件をつくるだけではだめ。歌劇におんぶにだっこではだめ。長崎の観光客数500万人に対し、宝塚市の観光客数は800万人。経済

効果を引き出す必要あり。企業誘致は長期課題。温泉街再生は難しい。

市民 観光客800万人の根拠は。

議員 歌劇は100万人で、あとは、社寺仏閣に来られている。

長崎との違いは、長崎市の500万人のほとんどが泊り客。宝塚市の800万人は日帰り客で、お金をおとしていかない。観光客に経済効果を生んでもらえるようにすべき。企業誘致で法人税をあげる方策も必要。

市民 歌劇は、チャーターバスで来る人が多いため、車中ですべて終わってしまって、近隣の商店にお金が落ちない。バスのせいで渋滞は起きるし、道路は傷む。

市民 宝塚市は夕張に負けないくらい厳しい。うわすべりの心地よい事だけを市民に伝えて、だましている。小学校の耐震工事も遅れている。危機感がない。7年間調べてきたが、あきれほど。悪い情報も表にだして市民に協力を求めたら、皆がもっと協力するはず。情報は公開すべき。

テーマ「安全安心のまちづくりについて」

市民 ラ・ビスタに住んでいる。風光明媚なところ。以前の大阪砕石場での砕石の爆破による騒音、自衛隊訓練の騒音はなくなった。その大阪砕石場の跡地は総合運動公園になる予定だったが、阪神淡路大震災でごみの野焼き焼却場となった。宝塚市は、いけないことを承知で5万トンのごみをもやした。大阪砕石場の跡地はどうなるのか。ラ・ビスタ近辺にごみ焼却炉を計画されているとのこと。安全で安心のまちづくりはどうなったのか。公害防止条例はどうなったのか。

議員 大震災の後、ごみ焼却問題が起こったが、ごみ処理施設に関して、現施設が対応年数を超えているので、新設についてこれから決めていく必要がある。計画から稼働まで10年ほどかかるが、まだ基本構想が2年がかりでできあがってきたばかり。これができあがれば、基本計画ができる。が、まだ候補地については白紙。ちょうどパブリックコメントを募集している。候補地についてはこれから選定するので、ごみ処理施設が大阪採石場跡地に来ることに決まったという話はない。大阪砕石場は土地の埋戻しにまだ2年はかかると聞いている。民間の持ち物なので、後の詳しい状況はまだわからないが、市も話を聞いている状態。

市民 住民への説明がなく、5万トン弱のごみを燃やしている。でも宝塚市は大気汚染について触れない。ダイオキシンの分布結果を仁川高丸では調べたが、すみれガ丘では調べてはいない。仁川高丸はとてもきれいなところ。きれいなところばかりで調べている。よりあい広場（保健所のところ）は数字が小さい。防止協定に基づいて、すみれガ丘の公園の砂場の濃度を調査してほしい。近くには浄水場もあり、不安なので調査してほしい。

.....

市民 行政のこと、パブリックコメント制度、公園問題、自転車問題で困っているが、今日はテーマごとということなので、自転車問題で話す。この件は、市役所と話をしていたが、話がかみ合わない。定年直後、9年かけて自転車で世界を走り回った。日本は自転車の走り方がめっちゃくちゃ。国内で自転車は乗っていない。怖いから。

公園関係に力をいれていたが、担当者が異動になったら、元に戻った。8月29日、公園についての市長のテーブルトークに行ったら、市の関係者は8人で、市民は5名しかいなかった。そこでは市民の問題点を聞く会だと思っていたが、市長が話すだけだった。議員は何をやっているのか。

自転車安全問題は、不満がある。伊丹市は進んでいる。自転車レーンも問題。どこが進んでいるのか、議員は自ら調べてほしい。

議員 具体的にどんなことを提案したいのか。

市民 話し出したらきりがない。

ダイエーの近くに住んでいるが、ダイエーの近くは危険。見てほしい。自転車は危険。高齢者の事故が増えている。

議員 道路交通法が変わり、全国的に問題化している。自転車に関しては高齢者が事故に巻き込まれる場合も多い。尼崎では車道、歩道、自転車道を分離したりしている。

テーブルトークについてのご不満は、行政への不満なので、こちらからも伝えておく。

市民 各論はいくらでもある。

議員 伊丹は平地、安全のみならず、不法駐輪にも取り組んでいる。宝塚でも研究の必要あり。

市民 公園の大木は切ってほしい。用心が悪い。空き家の大木は怖い。公園緑地課は緑を大切にすることから木は切れないというのが、大木があると暗くなって、たむろの場となる。市が土地を借りて収入にしてはどうか。私が通る道の大木を何とかしてほしい。昔、有名だった宝塚のイチゴを買いに、畑によく通った。

議員 公園や空き家の対応など、議員をやっているといろんな問題が届く。大木は危険という人もいるが、反対に守ろうという人もある。それぞれに対応していく必要がある。

市民 警察に言ったけど、人の持ち物だからできないと言われた。持ち主はわかっているのに、警察と市の連携ができてない。OBはすぐにするが、現職はやってくれない。

議員 地域の問題として、市と警察で連携を取っていく必要がある。また、個人の財産の場合、制限をかけることに問題もあり、空き家に対する条例なども含めて、しっかりと対応していく。

公園の大木は、具体的に聞いて、個別で対応していく。

まとめ

議員 ラ・ビスタの方のお話しについては、宝塚市には400メートルトラックがないため、公式競技会ができないという理由で、過去に総合運動公園についての議論をし、意見打診はしたが、阪神淡路大震災ですべての原案が崩れた。

今のところ、大阪砕石場跡に総合運動公園を作る予定はない。つまみ食いのように、小さな公園をいくつか買ってしまっているのだから、総合運動公園の実現は難しそう。

ごみ処理施設の件は、土地の所有者が、候補地として申し入れをしているのは事実。いくつかの候補地はある。現在の場所がなくなることのみ決定済。

空き家の問題は全国の問題。全国9千万棟うち13%が空き家。空き家問題は

国土交通省が法律を改正したので、これから進んでいくと思う。

各議員でとらえ方は違うが、宝塚市の財政が厳しいことは事実。宝塚市は5年から10年の間は、人口は減らないという予想をしている。市民と行政の見方は違っている。市民の声をしっかりと議員として受けとめて、市にしっかりと伝えていく。市民と議員は敵対関係ではない。

その他の意見

市民 宝塚市は未だに山の上に開発を続けているから、人口減少がないようにみえるのではないか。

市民 3分間で話して、かみ合っていない。両方が欲求不満になっている。

市民 議員の調査が不足している。

市民 市民は具体的な内容の意見交換会を求めている。